



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2019
6月号

No. - 530



トルコ文化年2019 トルコ至宝展 チューリップの宮殿・トプカプの美

と き / 6月14日(金)~7月24日(日) 9:30AM~5:00PM
と ころ / 京都国立近代美術館 (7/15以外の月曜と7/16は休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111



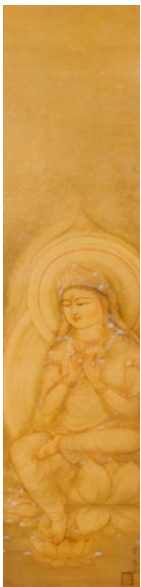
「立法者スルタン・スレイマン1世」
トプカプ宮殿博物館蔵

20世紀初頭まで数百年間にわたり栄華を極めたオスマン帝国。その象徴として敬われたのは、トルコ語で「ラーレ」と呼ばれる花、チューリップである。帝国内で盛んに栽培され、品種改良によって2000種もの多彩な姿を見せたラーレは、文学や美術においても好んで表現された。

本展では、スルタンの宝物をはじめトプカプ宮殿に残る美術工芸品の中から、ラーレ文様があしらわれた品々を多数紹介。書斎、礼拝の間やハレム、チューリップが咲き誇る中庭など、トプカプ宮殿を体感できる空間でスルタンが愛でた宝物の数々オスマンの優美な宮廷文化に触れ、またオスマン時代に始まるトルコと日本との友好関係の歴史も振り返る。アジアの東と西に位置する日本とトルコの両国が、同じアジアの文化圏の国民として共通する美意識を持っているを感じ取れるのではないだろうか。



「ターバン飾り」 17世紀



「観音之図(聖蓮華)」
1930年

没後80年・村上華岳

と き / 4月26日(金)~8月4日(月) 9:30AM~5:00PM
と ころ / 京都国立近代美術館4F (月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

村上華岳(1888-1939)の没後80年を記念した展覧会が、コレクション展示室(4F)の特集展示として開催されている。華岳は京都市立絵画専門学校同期の入江波光、榊原紫峰、土田麦僊、小野竹喬、野長瀬晩花らと1918(大正7)年に国画創作教会を創立し作品を発表した。しかし徐々に画壇活動が加えられて画家の自由な創作を束縛し芸術活動を不純なものとするのではないかと、という当初からの考えが強まっていった華岳は、持病の喘息が悪化したこともあって都から芦屋へと移り、15年第5回展への出品を最後に画壇から離れ、翌年さらに村上家がある神戸花隈に移った。ここで隠遁者のような生活を送るなか、有名な「製作は密室の祈り」という言葉に代表されるように、絵を描くことは、世界の本体を掴み宇宙の真諦に達するための修業と考えるようになった。主要なモチーフである仏画、六甲山、そして牡丹花や椿花までも主に墨で表現されるようになったが、色彩が全く無くなったわけではなく、一見墨のみで描かれたようでも、時間をかけ、角度を変えて見ていると、紙地が現れていると思われたところに胡粉が置いてあったり、緑青や朱、代赭、黄土が僅かにさされていたり、金、銀、アルミ泥が刷り込んであるのが目に飛び込んできて、はっとさせられる。

前期(6月9日まで)は絵画専門学校から国展時代までの、後期(6月12日~8月4日)では花隈隠棲時代の作品を中心に紹介している。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
		土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭 - 函谷鈴の名宝 -											祇園祭 - 山鉦巡行の歴史と文化 -											→8/4								
	3F	太田喜二郎と藤井厚二 - 日本の光を追い求めた画家と建築家 -											港大蔵/港三十三											→8/25								
	4F	美を競う 肉筆浮世絵の世界 (月曜休館)											"予告" 次回特別展 横山華山展 (7/2~8/25)																			
	5F	あそ ・フ 展 会	あそ ・フ 展 会	第74回 京都丹平写真展											第35回 「竹の会」 木版画展				第37回 明日をひらく 絵画 上野の森美術館大賞展 関西展				2019 京都日本画家協会 第7期展									
	6F												落語 会				日中書画名家展															
別館	音楽 会	講演 会	mt store at the Museum of Kyoto											朗読 会				音楽 会														
京都学・歴史彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	「対展」 (休館日: 祝日、第2水曜日)																															

内田雅 陶展 一日々に棲む一

と き／5月24日(金)～6月5日(水) 9:30AM～5:00PM

ところ／京都陶磁器会館(木曜休館) 京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

内田雅さんは、白磁に鉄や呉須で絵付けを施した、日常の器などを主に制作されています。内田さんの作品にしばしば見られる、水辺の生き物や草花の絵柄は、故郷の岐阜での風景を思い出し描かれたことをその始まりとしています。日常におもしろみを加える染付の器と共に、豊かな濃淡の生まれる鉄絵の技法を生かし、ユーモアあるオコゼを描いた陶額は、今や内田さんの代表作となっています。「何度描いてもおもしろい」と繰り返し描かれ、少しずつ表情を変えていく生き物たちをゆっくりとご覧ください。

内田雅(うちだ・ただし) 陶歴

1947年 岐阜県に生まれる

1968年 人間国宝 近藤悠三先生に師事

1977年 現住所(仁阿弥道八窓跡)に築窯

日本工芸会正会員・日本伝統工芸展 入選20回

日本伝統工芸近畿展 受賞2回／監査委員・特待者を歴任

東京、大阪、京都、岐阜、岡山、兵庫などにて個展



〔鉄絵おこぜ陶額〕

加藤和宏創陶展 一作る・造る・創る一

と き／6月21日(金)～7月3日(水) 9:30AM～5:00PM

ざわめく葉や木々を揺らす風、うねる水流などが一見自由に描かれたように感じられる「うつわ」たち。加藤和宏氏の作品は、その自然な風合いからは想像できないほど、造形と図柄が綿密に計算され、様々な「動き」を取り込みつくられています。

蠟抜きの技法により、蠟に弾かれ生み出された釉薬の細い線は、自然の中のうごめきを、直接描かれた線とは異なる様子で紋様に変化させます。もこもこことした造形たちは、球体状から、手の中で動き出すように形づくられていきます。

自然や手の様々な動きが、土ならではの穏やかな白や茶色に取り込まれ創られた「うつわ」の数々を、じっくりとご覧ください。

加藤和宏(かとう・かずひろ) 陶歴

1956年京都府生まれ。京都府長岡京市和光陶苑にて作陶のち、現在は滋賀県大津市北比良へ工房を移転。

比良麓湖窯主宰。

嵯峨美術短期陶芸科卒業

京都市工業試験場伝統産業後継者養成研修修了

京都府立陶工訓練校成形科卒業

日本工芸会正会員

滋賀県工芸美術協会会員

大阪青山大学非常勤講師

箕面学園福祉保育専門

学校非常勤講師



没後10年・ロニスの愛したパリ

WILLY RONIS 展

と き／4月11日(木)～6月23日(日) 10:00AM～6:00PM

ところ／何必館・京都現代美術館(月曜休館)

京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

ウイリー・ロニス(1910-2009)は、アンリ・カルティエ＝ブレッソン、ロベール・ドアノーなどと共にフランスを代表する、世界的な写真家です。まさに20世紀の証人とも言える彼は、ルポルタージュ、広告、ファッションなど幅広い分野の作品を数多く残しました。

その生涯をパリ市民として過ごしたロニスは、パリの街をくまなく歩き回り、労働、反抗、お世辞、毅然とした態度、謝罪、諦め、落胆、そして死といった人々の営みを静かに見つめ、現代の私達と同じように悩み、真摯に生きる姿を写し出しました。

「用心深く、誠実であるままに人生の道を進む」という考えのもとに生み出された作品には、ロニスの最も身体化された「パリの自由」が写りこんでいるのではないのでしょうか。その一瞬は永遠となり、今も色褪せることなく私たち見る者の心に感動を与えてくれます。

本展では、ウイリー・ロニスが生涯をかけて撮影したパリの日常に焦点を当て、何必館コレクションの中から、厳選されたサイン入りオリジナルプリント約60点を展覧いたします。

○記念出版「ウイリー・ロニス写真集」 3,500円



イル・スュール・ラ・ソルグ、プロヴァンス
1979年



「セーヴル、バビロン
交差点、パリ」
1948年



「捕虜の生還、パリ」
1945年

杉山 圭 個展 “HOME”

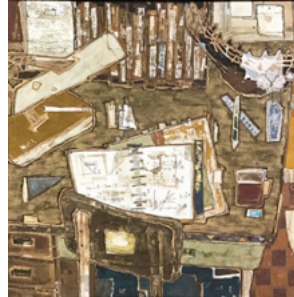
と き／6月5日(水)～6月10日(月) 11:00AM～7:00PM
ところ／アートギャラリー北野1階
京都市中京区三条河原町東入 ☎075-221-5397

上京して12年、東京で日本画を学んできました。今回関西での初展示、初個展になります。今年で漸く、もしくはとうとう、学生最後の年になりました。節目の年に地元の関西、ホームタウンで展示が出来ることに感謝しています。モチーフとしての家と地元としてのホームを掛けて個展のタイトルを“HOME”としました。

大小様々な作品を今出来る力で丁寧に描きました。ゆっくり見て頂ければと思います。(杉山 圭)

【杉山圭 略歴】

- 1988年 奈良県出身
2015年 東京藝術大学 絵画科日本画専攻 卒業
2015年 卒業制作(東京都美術館)台東区長賞、サロン・ド・プランタン賞、平成芸術賞
2016年 第1回松柏日本画展(松柏美術館)優秀賞
三國G展(ソウル大学)
2017年 東京藝術大学大学院 美術研究科絵画専攻日本画修士課程 修了
現在、東京藝術大学大学院 美術研究科美術専攻 日本画博士後期課程 第1研究室3年在学
2017年 修了制作(東京藝術大学大学美術館)東京藝術大学大学美術館買い上げ賞、平山郁夫奨学金賞 守谷育英会奨学金賞(同18年) 創画展(東京都美術館)入選
2018年 全国美術・教育リサーチプロジェクト(東京藝術大学大学美術館)
桃源郷芸術祭 2018(茨城県天心記念五浦美術館) 春季創画展(西武池袋)入選
2019年 佐藤国際文化育英財団 第28期奨学生 創画会東京研究会 第22回夏の会(ギャラリー青羅)
MITUKOSHI×東京藝術大学 夏の藝術祭(日本橋三越)日本画三人展(アートスペース羅針盤)
2019年 レスポワール展 個展(銀座スルガ台画廊)
春季創画展 春季展賞



「宿題」 910×910mm



「採集」 681×480mm

e·g·g·o 0070

水谷昌人 個展 「階段に降りる魂」

と き／6月20日(木)～6月29日(土) 10:00AM～6:00PM
ところ／大雅堂 1F展示室(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

このたび、上記の展覧会を開催する運びとなりました。キャンバスからうねうねと絵具が出ている様子は、グロテスクな印象もあれば、繊細でもあります。水谷先生はパネルの裏面に20世紀の絵画の巨匠達の作品をコピーした画像を貼り、そのイメージの形や色をヒントに絵具を絞り出す、という方法で制作しています。彼の特徴的な作品をこの機会にぜひご覧ください。

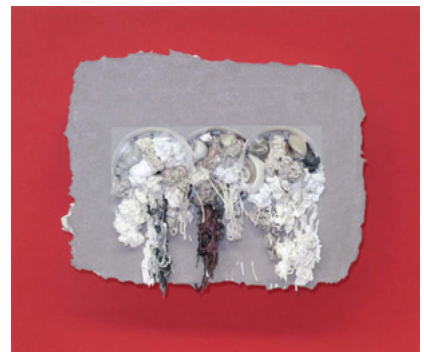
【展覧会に向けた作家のコメント】

近代西洋による歴史の進歩という考えは未開から段階を踏んで高度に対する。

日本では文明の内容を西洋文明にそのまま置き換え、明治には文明開化とよばれた。今だに日本の芸術はこの置き換えからのズレや問題がありながら作品が生まれ続けている。かつて仏教が伝来した時のように西洋文明も取り入れることができると思う。私は西洋がもたらしたモダニズムを通して(高度を目指すのではなく)すでにある、より多くの人が迎えられる状態に誘導したい。

【水谷昌人 略歴】

- 1990年 大阪府生まれ。
2013年 京都造形芸術大学 美術工芸学科洋画コース 総合造形ゼミ卒業。
2016年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科絵画専攻油画コース修了。
個展
2015 gallery take two 「UNREADY'UN ODYSSEY」
2016 TS4312 「水谷昌人展」
2018 TS4312 「ISANAI」
FINCH ARTS 「Sex and the Bacon」
受賞
2016 「アートアワードトーキョー丸の内 2016」 建畠哲賞



「Landing on the moon」

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
会場		日曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
企	カギムラ画廊 中央区河原町四条上ル東入 221-2996	小島悠司など日本画・洋画常設展																															
企	画廊 えんじゅ 東山区三条通古川町東入ル 050-3557-1723	貸画廊受付中																															
企	画廊 きよみず 東山区清水五条坂 525-2062	日本画常設展																															
企	画廊 後素堂 中央区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																															
企	画廊 たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																															
貸	ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	シルバーと七宝 2人展																									京都産業大学 写真部2回生 春展						
貸	喜聞堂アトスペース余花庵 中央区寺町通御池上ル 212-9793	北沢流能画 同泉會館画展	屏風・絵画 常設展																														
貸	ギャラリー 梧桐 左京区岡崎南御所町40 090-7849-6944	貸ギャラリー受付中																															
貸	ギャラリー M 中央区錦薬師高倉西 221-0979	令和元年の夢を描く展 (南フランス・モノコ・ユニバーサル) 松本祐佳															初夏の京を描く展 (壬生狂言と青葉の情景) 松本祐佳																
貸	ギャラリー かもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558	貸ギャラリー受付中																															
貸	ギャラリー 祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	第23回 アトリエ あずま展	佐伯浩 日本画展					米田桂子 作品展					第11回 泥展					第28回女性美を描く 東郷健 クロッキー展															
貸	ギャラリー 吉象堂 中央区三条柳馬場東 221-3955	銅駝美術工芸高校 卒業生有志展																															
貸	ギャラリー Create 洛 中央区丸太町通堺町角 708-7898	福井 タマエ展 (水彩画)	深沢軍治展 (洋画) (月曜休廊)										バリの日仏夫婦画展 (洋画) 五百崎智子・Michel JEAN					中村剛・山尾才 二人展 (水彩画・洋画)															
企	Gallery G-77 小川通丸太町下ル 090-9419-2326	イトウナホ ある言葉 -すべて私と同時的なる純粋な関係- (日・月休廊 14:30~19:00)																															
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
会場		日曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
企	ギャラリー K 中央区寺町二条下ル西側 255-7518	常設展																															
貸	ギャラリー 恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	田中直子展 (平面) 2F Kabi Raj Lama展	山添耕治展 (平面)					安井良尚展 (版画) (月曜休廊)					桑野冨佳展 (平面)					古本有理恵展 (版画・アクリル) (月曜休廊)					岸田尚子展 (平面)										
貸	ギャラリー 佐野 中央区寺町錦薬師西北角 221-2767	甥と叔母 の二人展	貸ギャラリー受付中																														
企	ギャラリー 三条祇園 中央区寺町通御池上ル 221-6401																																
企	ぎやらいい 思文閣 東山区古門前大和大路東入 761-0001	大入礼会下見会																															
企	ギャラリー 白川 東山安井東一筋目南 532-2616	マルチプルアートで楽しむアメリカンアートの巨匠たち (SMS1968より) デュシャン、リキテンシュタイン、クリスト他、(月曜休)																															
貸	ギャラリー 翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	井村晴美 油彩展	布楽工房 能 展示会 (和雑貨)					伊藤マリー 作品展 (油彩画 他)					鮮やかな魅し 漆芸家・脊口卓 時代漆塗家具展 (箆笥 他) (月曜休廊)																				
貸	ギャラリー 16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	平面 春香 絵画	岸田良子 [TARTANS] (絵画) 同時開催: INDEX (MENU) 1982 (月曜休廊) [岸田良子・INDEXシリーズ] では過去の作品をピックアップして再展します。										橋川昇平展 (月曜休廊) 「あなたが見つめる物語」(インスタレーション)																				
企	ギャラリー 創 中央区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画・古書画常設展																															
貸	ギャラリー 象鯨 中央区姉小路柳馬場東 253-0738	貸ギャラリー受付中																															
貸	ギャラリー TAJIRO 東山区繩手通新橋下ル 0774-27-1733	小泉広明 個展	京ふたつの伝統工芸展 「京友禅金彩志賀費× 七宝焼wayuplast」	教室 絵画	土井潤美 絵画展 ← 水墨画教室					教室 絵画						教室 絵画	教室 水墨画	宝石と香 の展覧会															
貸	ギャラリー Little House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	建築家と 匠展	4人展 (國井・川村・ 岡山・橋本)					ミニ絵画・京都展															祇園祭・扇子うちわ展										
企	ギャラリー 鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展 秋野不矩他 (6・9・18・19・28・29日休廊)																															
貸	ギャラリー 富小路 下京区富小路横小路下ル 090-7095-0576	夏季休廊																															
企	ギャラリー なかむら 中央区姉小路河原町東 231-6632	兼先恵子展 (染色) (月曜休廊)										黒田克正展 (洋画) (月曜休廊)																					
貸	ギャラリー 中井 中央区木履町三条上ル 211-1253	Pas à pas (バサバ)	今倉裕恵 銅版画展 「山と樹と日々」					中野悟朗展					江本佳寿子展																				
企	ギャラリー 白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427	白崎信子 ガラス作品展																															

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

